

◆じっくり腰を据えて！取り組もう！◆

鳳中学校3年通信 SCRUM 2024年度

2024 (R06) 6. 3 No. 4



自分が就きたい仕事に就くには、**どんな知識**が必要で **どんな資格**が必要か。そのためには、**どんな学校**に通えばいいのか。みなさんがこれから六ヶ月間かけて調べ、考えていくことです。「まだあと半年ある」と思うかもしれませんが、「たった半年」とも言えます。もちろん、上に書いたようなことは、今年の半年間だけで決めるのは無理です。

ですから「高校でこの先どう生きていくかをじっくり考えたいから、普通科の高校へ進学する」というのもありでしょう。「自分はものづくりが好きだから工業高校へ行く」という選択も一つです。また、中学校を卒業してからの進路は、高校進学だけではなくありません。様々な選択肢があります。それを、一緒にじっくり考えていきましょう。「自分はこうなりたい」と、将来への道をみつけるために、**多くの体験**や**情報収集**をしてほしいのです。



進路を見つめる…
視線の先に！



総合的な学習の時間で「高校調べ」に取り組んでいます。

- どんな特色がある学校なの？
- 通学にかかる時間は？
- 取得が可能な資格は？
- 卒業後の進学先、就職率は？

3年生の今の自分が「知りたいこと」を、徹底的に調べてまとめていきます。

学ぶ人として…
情報を得る！



第1回「進路希望調査」提出から担任との**個人面談**を行っています。

5月末から「クラスルーム」への**進路情報提供**も始まりました。今後、随時お伝えしていきますので、「最近届いてるの？」とお子さんに声をかけていただくなどして、**情報の共有**を心がけていただきますよう、お願い致します。

将来を考える

みなさんが**進路選択**と聞いて、真っ先に思い浮かべるのは、「中学を卒業したらどの高校に行こうか？」ということではないでしょうか？

もちろん、それも**進路選択**です。…しかし、みなさんの人生は中学校を卒業したあとに進学する高校で終わるわけではありません。



その後、さらに大学や専門学校へ進学するのか、しないのか。どんな仕事に就くのか。どういう家庭を築くのか。どんな老後を過ごすのか、などなど…。

「死ね」とか「消えろ」とか感情を吐き出すように言うのはもう止めてくれないか。

◆ 6月という新しい月がスタートし、夏服に身を包んだ子ども達の笑顔が教室に満ちています。…私にとって、6月1日という日は、忘れられない、忘れてはいけない、「**特別な日**」なのです。

今日は、**真剣**に、こんなお話をします…。

藤川先生の
一年一度の
真剣なお話

— 私が「先生」になって二年目のできごとから —

◇ 「あなたは、つい数分前まで、自分のそばにいた人が、一瞬にして この世からいなくなってしまう… そんな経験をしたことがありますか。」… 先生はあります。

先生になって 二年目。初めて中1の担任をしました。



◇ 新学期がスタートして二ヶ月。6月1日…。雨の日。下校中の12歳の男の子の「生命」を突然、奪った交通事故…。知らせを受けて、駆けつけたとき、男の子の顔は、いつもの男の子の「顔」をしていませんでした…。「がんばれよ」一生懸命、人工呼吸をしました。

一瞬 男の子が「目」を開きました。先生と目が合ったのです…。でも、その目は、二度と開くことはありませんでした…。

◇ 救急車に一緒に乗り、男の子の「手」をずっと握りしめていました。どんどん、冷たくなっていくんです…。

病院の廊下で聞いた、やけに規則正しい機械の音…。

駆けつけてこられ、医者に「残念ですが…」と死を宣告され、私の隣のイスに ぽかんとくずれ落ち、泣き叫ばれた、お父さん…。「どうして こんなことにい」大声で、叫び泣く、お母さん…。

◇ やっと通していただいた病室で、静かに横たわる男の子の「頭」を、教室するように そっと なでてみました…。「先生！あのねえ…」と、いつも「笑顔」で、語りかけてくれたのに…。

もう、何も 言うてはくれない…。あとに残ったのは、大きな 大きな悲しみと、「笑顔」しかない男の子との思い出と、あごひもが引きちぎられ 傷だらけになった ヘルメット…。

◆ 先生は、これらの場面を、決して忘れない。そして、「**教師**」を続けていく限り、生徒に、「**生命の大切さ**」を、自分の「**身を守る**」ための行動を、**真剣**に訴えていきたい、と思います。

先生の右手に いつもある、この「**数珠**」には、男の子のことを 決して忘れず、一生懸命 彼のぶんまで生きていく… そんな「**思い**」が込められているのです。

◆ 「一番大切なものは？」と きかれたら、迷わず「**生命**」と 答えます…。

みんなに 覚えておいて欲しいこと、それは「**人の生命の尊さ**」ということ。

決して、「**生命**」を そまつにはしては ならない、ということ。

「**自分の生命**」を、「**自分自身**」を 大切にする、ということ。

そして、自分の周りにいる 仲間の「**いのち**」を 大切にする、ということ。



大切にされなくていい「**生命**」、大切にされなくていい「**人**」なんて 一人もいないのです。

先生の
数珠の
意味